

## 序章 調査の概要

### 1. 調査項目

- (1) 各省庁における地域科学技術振興施策の現状  
・施策・事業概要、実施状況、個別事業の概要等
- (2) 個別事業における産学官連携ケーススタディ
- (3) 委員会・公開討論会を踏まえた提言

### 2. 調査の方法

平成14年度調査と同様、社団法人先端技術産業調査会内に学識経験者や専門家から組織される調査研究委員会を結成し、その指導・助言を得つつ調査研究を進めた。

具体的には調査研究委員会で調査方針を決定、それを元に各省庁の地域科学技術振興施策・事業の担当者へのヒアリング調査を実施、さらにそれら施策・事業の中から成果の出ている個別事例について企業等へのヒアリングを通じて、事業化に沿った産学官連携モデルケースの実態を把握した。

さらに上記ヒアリングで得られた検討結果などを踏まえ、地方自治体の科学技術振興、産業振興関連担当者等を対象とする公開討論会を開催した。そこで得られた意見および討議の結論を調査研究委員に諮り、提言としてとりまとめた。

#### ●大学等を核にした地域における新産業創出拠点の整備のあり方と今後の方向(その2) 調査研究委員会の開催日程等

第1回 平成15年11月28日 (於経団連会館)

- ・各省庁の地域科学技術振興施策・事業と地域産業振興政策の関わりに対する基本認識等について検討、調査の進行法等を討議した。

第2回 平成16年2月20日 (於経団連会館)

- ・各省庁で実施している地域科学技術振興施策・事業の現状、及びそれら施策事業の支援を受け地域で研究開発を行っている企業の研究活動の実態等を確認し問題点等について検討するとともに、それらの結果の公開討論会での報告方法・内容等を討議した。
- ・公開討論会終了後、そこで得られた意見および討議の結論を各委員持ち回りで確認、提言のかたちにとりまとめた。

●地域における産学官連携研究事業の推進 公開討論会の開催日程等

日時 平成16年2月26日 午後2時00分～4時00分

会場 経団連会館 9階902 桃山の間

挨拶 北澤 宏一 氏 独立行政法人 科学技術振興機構 理事

委員長挨拶・基調提言

内田 盛也 氏 財団法人 日本学術協力財団 理事

『地域における産業活性化 － 大学は社会のための科学拠点 －』

委員紹介 真野 博司 氏 株式会社 産業立地研究所 代表取締役社長

『地域における産学官連携研究への支援施策の現状』

司会 三浦 宏一 当調査会 理事長

参加者 地方自治体の科学技術振興、産業振興関連担当者、地域中核機関、民間企業等を中心に約60名参加

3. 調査研究委員会 委員名簿 (順不同・敬称略)

委員長 内田 盛也 財団法人 日本学術協力財団 理事

委員 石井 吉徳 富山国際大学 地域学部 教授

〃 池田富士太 株式会社 科学新聞社 代表取締役社長

〃 清水 敏寛 国士舘大学 大学院工学研究科 委員長・教授

〃 S・デイビス 麗澤大学 国際経済学部 教授

〃 真野 博司 株式会社 産業立地研究所 代表取締役社長 所長

委員主査 三浦 宏一 社団法人 先端技術産業調査会 理事長

4. 調査期間

平成15年11月から平成16年3月